

令和3年第6回田布施町議会定例会一般質問通告一覧表

質問者1 西本 篤史

※一問一答

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|---------------------|---|-------|
| (1) 予算案について | <p>町は財政健全化に取り組み、町債残高は減少、積立基金残高は増加、実質公債費比率（11.8%）は改善方向で推移しているというが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内19市町の5年間の実質公債費比率を見比べると田布施町は下から2, 3番を推移している。せめて中位にならないか。 ・ポストコロナ時代の「新たな日常」を見据えた取り組みを求められているが、総合計画実施計画を基にした令和3年度の収支見込みは1億5千万の財源不足であり、行政、学校のデジタル化により委託費、維持管理費の増加も考えられ、財源不足が増えるのではないのか。 ・当初予算見積概要を見ると、「総合計画実施計画」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」などが元になるが計画通りに出来るのか。 ・今年度は維持修繕費、施設管理費、一般事業費などがマイナス5%シーリング対象となったが成果はあったのか、来年度もするのか。 ・町独自の「魅力的取組」とはどういったものか。 ・三重県では「県民参加型予算」みんつく予算がある。町も町民が事業提案し投票する「町民参加型予算」は実施できないか、以上質問致します。 | 町長 |
| (2) コミュニティ・スクールについて | <p>田布施町は教育の町として名高い。先日、町コミュニティ・スクール委員会と地域教育ネット委員会の合同研修会が行われた。趣旨は、地域ぐるみで目標を共有するとともに、連携・協働して、効果的に教育活動を推進するための組織づくりを学ぶとある。コミュニティ・スクールは学校・家庭・地域の連携が基本であり、今までは地域から学校へ出向いていたが、今回の事例では田布施農工高校の生徒の手でつくる農工ブランド、総合支援学校のコミスク農園や「はぐくみカフェ」、萩高校校長の学校を核とした地域づくりと地域に向けた発信力と行動力には驚かされた。すべてにおいて学校から地域に向けて発信しているのを感じた。思いを形にするそんな取り組みである。今後の町の小中一貫（田布施学園構想）9年間の「学校・地域連携カリキュラム」を行うと思うが具体的に何をするのかお示し頂きたい。</p> | 教育長 |

質問者2 神田 栄治

※一問一答

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|-----------------------------|--|-------|
| (1) 自然災害に対する避難体制及び被災時対応は万全か | <p>近年、自然災害が甚大化、頻発化しており、安心して暮らせる町づくりのためには、河川・水路等ハード面の整備とともに、人命第一に避難体制を整える必要があります。そこで、最初の質問ですが、避難訓練の実施状況についてです。実施地域、訓練の種類（大雨、地震、津波）、頻度、机上・実地の別等について、また、未実施地域があれば、その地域と、理由もお願いします。また、定期的な実施が重要と考えますが、所見をお伺いします。2点目は、町内7か所の避難施設の最大収容人数（コロナ禍でない場合）と、必要となる仮設トイレ数を。また、仮設ト</p> | 町長 |

| | | |
|---------------------------------|--|----|
| | <p>イレ設置にあたり、レンタル業者との優先設置にかかる協定締結の有無についてです。3点目は、公共下水道の終末処理場が被災し、下水道が使用不能となった場合の対応方法と、施設の復旧にあたり、設備業者との修理優先の協定締結の有無について。4点目は、災害発生時の職員行動マニュアル作成の有無について。5点目は、過去発生した土砂災害発生箇所の把握状況についてです。</p> | |
| <p>(2) 農業機械等導入に関する町の助成等について</p> | <p>日本の農業は、食料自給率が4割を切る中、担い手不足、高齢化の進行等により労働力不足が深刻な問題となっています。その解決策として、国が推奨しているのが、農作業の省力化、負担軽減が図れる人工知能AIなど先端技術を活用した農業、いわゆるスマート農業への取り組みです。ドローンによる農薬散布、自動水管理システム、自動運転コンバインの導入等により、労働時間の削減や新規就農者でも熟練技術者並みの精度・時間で作業ができるなど、農業経営の効率化を図ることが可能ですが、問題は導入コストです。地域農業の核となる農業法人では、資金確保が難しい状況にあり、スマート農機の導入にあたり、法人への支援が必要と考えます。今年度予算では、スマート農業に関する補助が計上してあり、県補助1/3となっているが、町の補助はどうなっているか、併せて、認定農業者と農業法人の経営面積とこれが町全体の農地の何割にあたるかと、耕作放棄地面積についてお尋ねします。また、収益向上を目指し、新規品目への取組の検討や新たな販売先確保のため、先進事例紹介等の講演会開催への取組も必要と考えますが、如何でしょうか。</p> | 町長 |

質問者3 河内 賀寿

※一問一答

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|-------------------------------|---|-------|
| <p>(1) たぶちゃん、今後どう運用するのか</p> | <p>10年以上も前に、「田布施町のPRキャラクターを作ってはどうか」という一般質問をした。最近、「たぶちゃん」という着ぐるみに予算がつき、活動を始めた。保育園でのお披露目も好評のようで、今後も未永く愛されればと思います。</p> <p>住民の方からは、数年で倉庫に置かれっぱなしになるのではとの声もある。そのようなことがないよう、今後どう運用されるのか問う。</p> | 町長 |
| <p>(2) 終戦記念日の正午、サイレン鳴らしては</p> | <p>今年も8月15日の正午、我家からは別の行政のサイレンが聞こえた。</p> <p>前にもこの質問はしましたが、本町はいつもの田布施町歌のメロディのままでした。</p> <p>町外の人に、この時期に尋ねると、田布施はなぜしないのか逆に尋ね返されることも多い。</p> <p>300万人以上の方が亡くなられた先の大戦である。戦後75年も経っているから、する必要がないというレベルの話ではないと思う。</p> <p>終戦記念日の正午、サイレンを鳴らしてはどうか。近隣市町も、光空襲や原爆の日など、鳴らしている地域も多い。</p> | 町長 |

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|-----------------|--|-----------|
| (1) 適正な人事評価を | <p>田布施町では人事評価制度について、5年経過したので、来年度に向けて問題点や課題を整理して改訂を行うこととしています。</p> <p>これまでの田布施町の人事評価制度実施要領を見ますと、被評価者は全職員になっています。しかし、評価者の区分を見ても、町長部局と教育委員会の2つの区分しかありません。更に、確認者の欄もありません。議長は人事評価には関与しなく、議会事務局関係の職員の評価は、現状では町長部局の職員と同様な扱いとなっています。</p> <p>また、教育委員会関係の評価についても、課長級の評価は教育長になっているものの、第2次評価者には副町長がなっています。</p> <p>そこで、来年度から実施される改訂実施要領では、他にも選挙管理委員会等の独立した機関がありますが、兼務する職員の評価者の区分や第1次評価者、第2次評価者、確認者はどうされるのでしょうか。</p> <p>人事評価の結果が給与にも反映するようになっており、適正に評価するためには面談や研修は不可欠ですが、現状はどうなっていますか。また、今後、人事評価システムを導入する考えはありますか。</p> | 町長 |
| (2) より安全で安心な給食を | <p>給食センターの調理業務と配送業務を民間委託し、それ以外の食の安全と安心を担う献立の作成や食材の発注、食育の業務は引き続き町が行うという新たな体制で学校給食が2学期から始まることになりました。</p> <p>今回の給食センターの業務が民間委託により、食の安全が損なわれ、給食費の値上がりをもたらすのではないかと懸念する町民も居られ、これまでの経緯を含め丁寧な説明が必要かと思えます。</p> <p>学校給食や保育所の給食においては、より安全で安心な給食をという観点から、子どもたちの配膳活動や食育、食材の地産地消、生ごみの処理、食物アレルギー対策等にも多くの保護者が関心を示しています。現状をお聞かせください。</p> <p>また、中学校のエレベーターやランチルーム等の学校施設でも、上階への配膳や地域への開放という目的外の使用になるかもしれませんが、有効な活用はできないかとの要望もあります。いかがでしょうか。</p> | 町長 教育長 |
| (3) バリアフリー化の推進 | <p>元同僚から、田布施町の表玄関とも言える田布施駅前を整備しないかと誘われたのが7年前でした。</p> <p>四季折々の花が咲くように花壇とプランターを管理し、タバコの吸い殻等の清掃活動をしています。最近気になっているのが、点字ブロックの劣化により、黄色い欠片が散乱して点字ブロックとしての用をなさなくなっていることです。</p> <p>田布施駅のバリアフリー化に向け、町はJRには数年前から段差解消を要望し、エレベーターの設置に向けても検討しているようですが、点字ブロックの修復再生、更に多機能トイレがあれば好印象は増します。</p> <p>点字ブロックが劣化して視覚障がい者に不便をかけているばかりか、いろんな障がい者へのバリアフリー化が進んでいる今日、放置していると、障がい者対策の面では遅れた町との印象を与えかねません。</p> <p>第6次田布施町総合計画では、「共に支え合うまちづくりの推進」を施策として挙げていますので、是非、駅前の点字ブロックの修復再生と多機能トイレの設置をJRに要望できませんか。</p> | 町長 |

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|---------------------|---|-------|
| (1) 旧麻里府小学校校舎の早期解体を | <p>麻里府小学校が麻郷小に統合されて6～7年が経ちました。グラウンドと体育館は現在も使用されていますが校舎は耐震化に不適合の為、使用されていません。現在も外壁のコンクリートの一部が剥がれ落ちた場所も幾つか見受けられる。更にグラウンドの端にあるプールもそのまま、プールサイドまで「イノシシ」が出没している状態である。この校舎とプールを早く解体し、その跡地に「遊歩道型運動公園」の設置をお願いしたい。地域住民の念願でもあり、校舎跡地から桜川沿いにプール跡地までを住民のアイデアで運動機能を含んだ遊歩道を設置して頂きたい。高齢化社会をいかに有意義に生活出来るかは、健康な体を維持する事になり、まさにその運動場所になる。</p> | 町長 |
| (2) 「見えない価値」の評価 | <p>企業が既存の財務諸表には表れにくい「見えない価値」を語り始めた。人や自然環境の変化に合わせ、存在意義を問い直す動きとみる事が出来る。行政も各課で計画した其々の目標の度合を定期的に公表し、共有したらどうか。コロナ禍で行政の仕事も多忙を極めていると思われるが、男性職員の育児休暇取得率が現在何パーセントか。育児休暇を取りやすくする為にもこの取得率を上げて行く必要がある。風通しのいい環境作りをお願いしたい。</p> | 町長 |

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|----------------------------|---|-------|
| (1) 若者と地域連携による施策を | <p>39歳以下の田布施町の人口に占める割合は、約3分の1である。田布施町第6次総合計画において、若者に関わる事項として、婚活イベントについてと、若者の交流イベントを開催する、そして田布施農工高校とのたぶせVIEW会議に関する記述が主なものである。</p> <p>社会には、高齢者もいれば若者もいる。政策決定やまちづくりに、同じ社会の構成員である若者が参画しないのは、不自然である。若者に託す未来に、その未来を支える若者の声が直接反映する制度や仕組みがないことは、不合理ではないか。</p> <p>田布施町では、令和2年度に策定した田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく、施策や事業の効果を検証し、地方創生の検討を行い、幅広く多くの人から意見をいただくために、地方創生検討委員会を設置されている。そこで次のことをお尋ねする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生検討委員会の構成員の平均年齢と、39歳以下の委員の人数。 ・若者の地域参画に対する、町の考え、取り組みについて。 | 町長 |
| (2) 小・中学校における地域社会とのかわりについて | <p>現在、小・中学校では学校運営協議会がもたれ、地域との連携した取り組みがおこなわれている。各学校において、地域の特色を活かした取り組みがされている。一方、田布施町の将来を考えると、地域のこと、行政のことをもっと深く学ぶ機会をつくるのが大切であると考えている。</p> <p>以前、東町長より「ここ何年も田布施町役場への就職希望者に、地元の子供が一人もいないんだよ」とお聞きした。何故？と考える時、小中高校生の間に、役場庁舎内や町議会議場など訪れる機会も少なく、なに</p> | 教育長 |

| | | |
|--|---|--|
| | <p>をしているところかも知らずに育ち、町外への進学、就職しているのではないだろうか。しっかりと、まちのこと、産業のことを、子供たちの年齢に応じた学びの場をつくり、地域の者が先生として教え、体験できる機会を設ける必要があると感じる。</p> <p>そこで、子供たちが地域社会について、年相応な学び、様々な機会を通して、見て、触れて、ふるさと田布施への思いを育めるように、どのような教育に取り組んでいるのかをお尋ねする。</p> | |
|--|---|--|

質問者7 瀬石 公夫

※一問一答

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|-------------------------|---|-----------|
| (1) 地方自治体による広域連携の推進について | <p>2020年国勢調査の速報値で、山口県は前回調査から61,742人減少し、柳井市と熊毛郡を合わせた人数が消滅した。</p> <p>急激に進行する人口減少と少子高齢化、税収が悪化する財政状況、また強まる地方分権への流れ、こうした背景にあつて、2040年頃にかけて生じる変化・課題、そして大規模な自然災害や感染症等のリスクに的確に対応し、持続可能な形で地域において住民が快適で安心・安全な暮らしを営んでいくことができるようにするためには、地方自治体それぞれが持つ情報を共有し、資源を融通し合うなど、地域の枠を越えて連携し、役割を分担することにより、住民の生活機能の確保、地域の活性化、経済成長、災害への対応、地域社会を支える次世代の人材の育成、地域のスマート化の実現などが可能になる。また、インフラの老朽化、利用者の減少に伴う維持管理コストの増大や技術職員、ICT人材等の専門人材の不足に対応し、他の地方自治体と連携し、施設・インフラ等の資源や専門人材の共同活用に取り組むことは行政運営において効果的であると思う。そこで、町長の広域連携についての所見を尋ねる。</p> | 町長 |
| (2) 通学路の安全確保について | <p>令和3年6月29日千葉県八街市の小学校の通学路で、下校中だった小学生の列に、トラックが突っ込み5人が巻き込まれる痛ましい事故が発生した。心からお悔やみ申し上げますと共に、負傷されました児童の皆さんには心からお見舞い申し上げます。この事故はトラック運転手の飲酒運転であることが判明し、アルコールの影響により居眠り状態だったと伝えられている。飲酒運転根絶に向けた取り組みが必要である。</p> <p>また、本町でも平成29年12月にトラックが下校中の生徒を巻き込む死亡事故が起きている、通学路の安全対策に万全を尽くす必要があると思う。そこで、次のことについて尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 通学路の総点検はされたか、それにより危険箇所は確認できたか。 2 集団登下校で歩く子どもは前の子の背中やかがとばかり見て、ほとんど周りを見ていないという調査結果もある。命を守るための指導は。 3 通学路の危険を防ぐ方法が困難な場合は、スクールバス運行の検討をされては。合理的な解決方法と思うが。 4 飲酒運転根絶を目的とする条例制定等を検討されては。 | 町長 教育長 |

| | | |
|------------------------------|---|-----------|
| <p>(3) ペット受け入れ避難所について</p> | <p>本町もこれから、本格的な台風シーズンに入り避難所開設の必要が多くなると思われる。先月8月14日には町内に大雨洪水警報が出され5か所の避難所が開設され6名の方が避難された。</p> <p>こうした中、今日のペットブームやコロナ禍の中での巣ごもり生活でペットを飼われる家庭が多くなり、家族の一員のように生活されている家庭を多く見受ける。避難によりペットと一時的でも別れるのは辛いと思う。また、避難時にペットが飼い主と離れ離れになってしまい、ペットが負傷したり衰弱・死亡するおそれもある。また、逃げ出し放浪すると住民の安全や公衆衛生上の環境が悪化することも懸念される。</p> <p>このような事態を防ぐために、災害時に同行避難を行うことは動物愛護への観点のみならず、放浪動物による人への危害防止や生活環境保全の観点からも必要と思う。そこで、次のことを尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町内1か所にペット受け入れ避難所を開設されては。 2 飼い主による災害時に備えたペットに対する対策の普及啓発が普段から必要ではないか。 | <p>町長</p> |
| <p>(4) 新型コロナワクチン供給不足について</p> | <p>国内では、感染力が強いインド由来のデルタ株が影響し、感染者急増で医療体制に重大な影響が出ている。</p> <p>新型コロナワクチンはコロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また重症化を予防する効果が期待されており、感染拡大を止めるカギはワクチン接種である。ワクチン接種の加速化が肝要と思う。</p> <p>そこで、次のことについて尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 厚生労働省が示す都道府県別のワクチン配分計画では、8月末から10月初めまでの山口県への配分量は、以前の配分の約9割減となった。本町の接種希望者への影響は。 2 高齢者（65歳以上）で2回接種を行った人の割合は。 3 12歳以上65歳未満で2回接種を行った人の割合は。 4 本町の接種希望者が2回目の接種をほぼ完了するのはいつ頃の見通しか。 | <p>町長</p> |

質問者8 内山 昌晃

※一問一答

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|------------------------------------|---|-----------|
| <p>(1) 防災・減災対策について</p> | <p>8月に入り、停滞する前線の影響で、西日本においては災害級の大雨となり、本町においても、災害対策基本法改正後初の高齢者避難指示が発令されるなど、災害に備える対応をされたことと思います。</p> <p>今回の大雨での本町の対応について以下のとおり質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①被害状況 ②災害対策本部設置状況及び配置人員 ③避難所の設置状況及び避難状況 ④課題や反省点はないか | <p>町長</p> |
| <p>(2) 高齢化・人口減少による地域課題への対応について</p> | <p>令和3年2月に改訂された田布施町人口ビジョンによると、令和2年に14,623人であった人口が10年後13,159人、20年後11,617人、35年後には1万人を割り込む試算となっており、人口減少は加速度的に進行して行くと思われています。平成27年度と令和3年度で町内の自治会別人口を比較すると、増加、ほぼ横ばいの自</p> | <p>町長</p> |

| | | |
|--------------------|--|----|
| | <p>治会は18自治会で、57自治会は減少しています。減少率10%以上の自治会は15自治会、減少率の最多は22.4%となっています。</p> <p>このような背景の中、高齢化・人口減少により集落の機能が低下し、班の維持、行事の開催、草刈りや溝掃除等の環境作業が困難な状況となっています。</p> <p>今後、ますます人口減少は進行していく中、町としてどのように集落機能を維持・活性化していくのかお尋ねします。</p> | |
| (3) 地域おこし協力隊活動について | <p>9月末をもって地域おこし協力隊員の一人が任期満了により卒業されるようです。この3年間の実績と成果、反省点と課題、今後の去就をお尋ねします。</p> <p>併せて、2年目を迎えたもう一人の地域おこし協力隊員の活動状況と今後も地域おこし協力隊員を募集していくのかお尋ねします。</p> | 町長 |

質問者9 落合 祥二

※一問一答

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|-------------------------------|--|-----------|
| (1) 新型コロナウイルス感染対策及びワクチン接種について | <p>山口県は、8月25日にデルタ株感染拡大防止集中対策を強化し、期間も9月12日まで延長したが、県内の感染状況は、一番上の「ステージ4」となり、医療提供体制への負荷が急激に高まってきている。</p> <p>田布施においても、累計感染者数は8月31日現在で39人になっている。</p> <p>一方、ワクチン接種も感染予防や重症化のリスクを抑えるため、町民が一日も早く接種を受けられるようにすることが重要だ。</p> <p>まず、感染対策について質問する。</p> <p>① 県が発表した「デルタ株感染拡大防止集中対策の強化及び期間延長について」の中に「学校における感染予防防止対策」が示されている。本町の対応は。</p> <p>次に、ワクチン接種について質問する。</p> <p>② 一般接種において、65歳以上の高齢者の1回目の接種を終えた人の割合及び2回目の接種も終えた人の割合及び全ての町民の1回目の接種を終えた人の割合及び2回目の接種も終えた人の割合は何%か。</p> <p>③ 集団接種は希望者が少ないので9月5日(日)、9月12日(日)で終了となっているが、健康上の理由で集団接種を受けられなかった人は、町内各医療機関で個別接種を受けることになるのか。</p> | 町長 教育長 |
| (2) 通学歩道の整備について | <p>本年6月に「第11次 田布施町交通安全計画」が策定されている。その計画の中に、「田布施町通学路安全プログラムの推進」と「歩行者・自転車対策及び生活道路対策の推進」が示されている。</p> <p>一方、近年、本町も道路改良等に伴い歩行者も自転車も通行が可能な歩道が整備されており、通学路の安全性が向上している。しかしながら、一方で、歩道がない、歩道があっても自転車が通行できない通学路がある。</p> <p>そこで、まず「田布施町通学路安全プログラム」について質問する。</p> <p>① 毎年どのようにして実行しているのか。</p> <p>② 危険箇所は、何か所あるのか。</p> <p>③ 対策実施後の効果把握、対策の改善・充実はどのように行うのか。</p> | 町長 教育長 |

| | | |
|--|---|--|
| | <p>次に、通学歩道の整備について質問する。</p> <p>④ 一朝一夕にはいかないと思うが、特に自動車の交通量が多い通学路について、自転車も通行が可能な歩道を整備するよう、国道なら国に、県道なら県に要求できないか。また、町道なら計画的に実施できないか。</p> | |
|--|---|--|

質問者 10 南 一成

※一問一答

| 質問事項 | 質問要旨 | 質問の相手 |
|----------------------------|--|-----------|
| (1) 町民の税と社会保障の負担率について | <p>以前から先輩議員がしていた一般質問を行います。国・地方税と社会保険料の合計額を所得で除した比率は国民負担率と呼ばれていますが本町の標準世帯で年収別の負担率を回答して下さい。</p> <p>社会保険料の内65歳以上の介護保険料は3年ごとに見直され、令和3年度から基準額が14,400円安くなり全国で2番目の引き下げ率となっており、これは喜ばしいことです。</p> <p>介護保険料は町民利用者の取り組みにより、町内で保険料が決めます。高齢化が進む中でどのような介護予防の取り組みをしているのか、そして保険料の上昇を抑えるため元気な高齢者を育てる「介護予防ボランティア」の取り組みをしては如何でしょうか。</p> | 町長 |
| (2) 8月の大雨災害について | <p>8月11日から大雨で矢蔵の宅地造成地斜面に設置している太陽光発電パネルから大量の土砂が町道に流れ出し、土砂搬出まで通行止めになり地域住民は多大な迷惑を被った。この造成地は西斜面も亀裂が生じていて一度修復するも再び亀裂が出来危険な状態です。7月に熱海市で起きた土砂災害の事例もあり、町として造成業者に、町民の安全、安心の為に何らかの行政指導はできないか。</p> <p>この町道は以前田布施西小学校の通学路でしたが危険な施設が出来たため事前に変更し大事には至りませんでした。交通事故、自然災害、ブロック塀など通学路の安全点検は如何でしょうか。</p> <p>また、田布施川の草地の護岸にヌートリアが生息し、今年は13ひき駆除していますが、護岸の草むらに穴を掘り生活しているため、大量発生した場合護岸の強度が心配です。草むらという目撃しにくいところなので広報し、みんなで注意、通報して防災意識を高めたら如何でしょうか。</p> | 町長 教育長 |
| (3) 固定資産税等の還付及び返還の事前連絡について | <p>8月中旬に役場税務課より「固定資産税等の合算課税解除に伴う還付及び返還について」という文書が対象者に発出されました。内容は、①還付・返還の対象となる年度、②返還の対象になる可能性のある年度の表示があり、②の方は領収書等をお持ちであれば返還対象となる表示がしてあります。町民より、詳しい説明が無く20年前の領収書を出せば返還するという一方的な文書に憤慨され相談にこられました。私は議会で説明を受けていて、その内容をその方に説明をしたら納得されました。誤解を避けるため何らかの方法で説明をしては如何でしょうか。</p> | 町長 |